

シンポジウム 「避難安全におけるバリアフリーデザインの確立を目指して」

主催：日本建築学会 避難安全のバリアフリーデザイン特別調査委員会

日程：2013年12月2日（月）13：30～17：30

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の制定等により、建築・都市空間において日常的な生活・活動の障壁・制約は大きく改善されてきました。しかし、火災や地震等の災害が発生した場合、自力避難が困難などのために避難支援が必要な人の避難安全を確保する対策は充分ではなく、設計基準等の提案・普及は喫緊の社会ニーズとなっています。社会ニーズ対応推進委員会傘下の「避難安全のバリアフリーデザイン特別調査委員会」では、避難安全のバリアフリーに関わる設計指針の提案を目標として、1) 建築用途(医療福祉施設・保育教育施設・商業施設等の一般建築に分類)ごとに管理運営や避難行動の特性の標準化、2) 津波避難ビル等を中心とした広域避難計画の作成、3) 共通課題である垂直避難困難を支援する技術・手法の整理、4) 計画・設計に活用できる避難行動能力データベースの構築、を柱として活動してきました。このシンポジウムは、現時点での検討状況や今後の課題などについて解説し、参加者の方との幅広い意見交換を通して、設計指針の方向性を探ることを目的として開催いたします。

プログラム（発表タイトルには仮題を含む）

第1部：13:40-16:20 検討経過の報告

- 1) 委員会の目的と概要 関澤 愛（東京理科大学）
- 2) 医療福祉施設の避難安全計画・評価 土屋伸一（明野設備研究所）
- 3) 保育施設の避難訓練と安全計画 佐野友紀（早稲田大学）
- 4) 避難行動要支援者を対象とした物販店舗における避難計画の手法
吉村英祐（大阪工業大学）
- 5) 津波避難にみる広域避難の課題と対策 八木真爾（佐藤総合計画）
- 6) 垂直避難支援のための「避難支援スペース」のあり方 玄海嗣生（東京消防庁）
- 7) 設計に活用できる避難行動能力データベース 志田弘二（名古屋市立大学）

第2部：16:30-17:30(60分)

全体質疑応答・意見交換

まとめ 関澤 愛（前掲）

※都合により講演者が変更となる場合があります。

参加費：会員2,000円、会員外2,500円、学生1,500円

（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：150名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=622> よりお申し込みください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 教育・普及事業グループ 酒井

TEL03-3456-2051 E-mail：sakai@aij.or.jp